

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8	
本票作成	部署名：建築設備本部 エネルギー部			
主たる業種	分類コード 58	業種名：飲食料品小売業		
事業の概要	フランチャイズ方式によるコンビニエンスストア（セブン-イレブン）を展開。 岡山県内に327店舗（2024年3月末時点）内、事業所が1か所。			
県内の 主な 工場等	番号	工場等の名称	所在地	
	①	津山高野店	岡山県津山市高野本郷1677-1	
	②	岡山矢津	岡山県岡山市東区矢津1514-2	
	③	倉敷駅前	岡山県倉敷市阿知2-8-1	
	④	岡山東中央町	岡山県岡山市北区東中央町5-2-1	
	⑤	岡山桃太郎大通り	岡山県岡山市北区野田屋町1-1-15	
⑥	岡山昭和町	岡山県岡山市北区昭和町10-16		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 327 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)			
温室効果ガス 排出量	基準年度(令和4年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和7年度)	
	15,024 t CO <sub>2</sub>	16,885 t CO <sub>2</sub>	14,573 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等 の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量	
	①	津山高野店	87 t CO <sub>2</sub>	
	②	岡山矢津	81 t CO <sub>2</sub>	
	③	倉敷駅前	81 t CO <sub>2</sub>	
	④	岡山東中央町	81 t CO <sub>2</sub>	
	⑤	岡山桃太郎大通り	74 t CO <sub>2</sub>	
⑥	岡山昭和町	76 t CO <sub>2</sub>		
削減目標の 達成状況	計画期間： 令和5年度 ~ 令和7年度 (3箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準 (5)年度削減実績 目標削減率 目標達成			
<input type="checkbox"/> 原単位基準 △12.4 % 3.0 % <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達				
(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )
(該当事業者のみ記入)				
ベンチマーク 指標の状況	対象事業の名称 通常コンビニエンスストア業	ベンチマーク指標 707.000 KWh /百万円以下	関連数値(令和5年度) 573 KWh	達成率等 123.4%
【削減状況の自己評価】				
基準年度に対し、12.4%増加という結果となった。 理由としては、CO <sub>2</sub> 排出係数が基準年度比で14.4%増加したことが考えられる。 電力の総使用量は基準年度比で-1.8%となり、計画を超える結果を出すことができた。				

**【推進体制】**

●コンビニエンスストア事業と地球環境保全の調和をめざし、本部と全国の事務所、直営店を対象に、2014年から国際規格の環境マネジメントシステムISO14001認証を取得。  
 この環境マネジメントシステムISO14001を運用することで、環境に対する様々な取組を進めている。各部門の取組として、ISO担当者が最新の環境知識の習得や技術の導入検討を進めるため、独自のテキストを使ったSDGsに関する情報発信や、環境イベントへの参加を促す等、各部門が効果的な活動を考え取組を行っている。  
 今後も環境マネジメントシステムISO14001の運用を継続して、地球環境に配慮した事業運営に努めて参ります。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
対象店舗	(令和5年度実施分) 対象店舗において更新計画に基づく設備更新 (2023年度実績) ・IHフライヤーの更新：78店舗 ・新型LED照明の更新：6店舗 ・ペットボトルウォーマの更新：11店舗 太陽光発電の設置及び発電した電力の使用 ・193店舗(2024年3月末時点) 1,984,476kWh/年  (今後実施予定分) 更新計画に基づく継続的な設備更新 ・IHフライヤー ・新型LED照明 ・冷設備 ・空調機等  設置可能店舗への太陽光発電の設置

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	設置可能店舗へ太陽光発電設備の設置
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・CSRレポート・ホームページ等での情報発信
- ・店舗における石油由来のプラスチックの削減施策として店舗にてお渡しするスプーンなどのカトラリーは一部店舗で植物由来のバイオマス素材が配合された環境配慮型カトラリーに変更、また、店内の販促物を環境配慮型素材に変更することでプラスチック使用量を12%削減しています。
- ・店舗における食品ロスの低減及び廃棄物の減量化として下記施策を実施しています。  
 「てまえどりの推進」「エシカルプロジェクト」「食品リサイクル」  
 「サステナブルな原材料の使用」
- ・店頭にてペットボトル回収機を設置し、回収したペットボトルを再使用したオリジナル商品を開発し販売しています。
- ・報告書の提出は今年度を最後とする（フランチャイズ制のため）。